



林 声

2017

7 月号



芳井町林業研究会会長の田中昭治（たなか しょうじ）さんは、井笠普及指導区で唯一の林業研究グループの会長として、マツタケ生産技術の向上のほか、ホンシメジ人工栽培などにも積極的に取り組まれています。（詳細はP 2に記載）

目 次

岡山・森林列伝	林産物市況	11
（芳井町林業研究会会長 田中 昭治さん）	事務局からのお知らせ	13
がんばる認定事業体（山陽商事株式会社）	森林・林業施設の紹介	
普及指導区の情報（東備支部）	（ライフデザイン・カバヤ(株)倉敷支店）	14
教えて先輩！（布瀬 健一さん）		
おかやま森づくり県民税事業の紹介		
研究だより（森林研究所林業研究室）		
岡山県新規採用職員（林業職）自己紹介		8～9
イベント情報		10

【ぼっけ～木になる情報】

Q. 林業関係者の会話の中で
時たま聞くことがある
「60」という数字
これはどんな意味が？



岡山・森林列伝

【井笠普及指導区】



一 はじめに

井笠普及指導区で唯一の林業研究グループ「芳井町林業研究会」の会長として活躍されている田中昭治さん（67歳）を紹介します。

田中さんは、子どもの頃から山に入って柴刈りや薪づくりなどの作業を手伝っていました。地元農協に就職した後、地域に豊富にあったアカマツを活用した木毛（果実・陶磁器などを梱包するときに詰め物にするため、木材を糸状に削ったもの）や割り箸用材の生産と製材業（賃曳き）を父親とともに始め、田中さんは木毛生産を主に行われていたそうです。

その後、代替品の台頭等により木材・製材業を廃業し、再度就職した農協の定年後、ブドウ（ピオーネ）栽培の傍ら、「芳井町林業研究会」に入会し、マツ林の整備やホンシメジの人工栽培に取り組み、平成26年から同研究会の会長として地域林業の活性化に向けて様々な活動を行われています。

二 「芳井町林業研究会」

同研究会は平成5年にマツタケ生産技術の向上を目的に設立され、現在の会員は15名、主に井原市芳井町北部で活動を行っています。

近年ではホンシメジの人工栽培に取り組みほか、林業先進地等の視察や松くい虫被害予防学習会を開催するなど活発な活動を行っています。



会員の皆さんと田中さん（前列中央）

三 ホンシメジ人工栽培

かつて、たくさん発生していたホンシメジを復活させるとともに、過疎化が進む地域を活性化させるため、平成15年から森林研究所の協力を得ながら、ホンシメジ菌付き苗木を山林に移植するなど新た

に開発された人工栽培に取り組んでおり、平成22年からは実証試験地においてホンシメジが毎年発生しています。



実証試験地に発生したホンシメジ

今年度は、4月26日に森林研究所から提供されたホンシメジ菌をコナラ苗木の根に付着させ仮植しており、本格的に梅雨期を迎えた6月27日に会員の手によって菌付き苗木を山林に植栽しました。



仮植（菌付け）

四 マツタケ生産技術向上

同研究会も会員の世代交代が進んでおり、上層木の伐りすかしや地表のかきおこしなどのマツタケ生産技術の低下が危惧されるため、11月頃に「きのこ名人」の岡良徳さん（同研究会前会長）の指導によるマツタケ発生環境整備講習を行う予定です。



植栽（山土客土）

五 おわりに

井笠普及指導区として、管内唯一の林業研究グループの会長として活躍されている田中さんへの支援を全力で行いたいと思います。

（林業普及指導員 木村 旨則）

がんばる認定事業体

山陽商事株式会社

FOREST DESIGN

事業部の紹介

【津山普及指導区】

一 はじめに

山陽商事(株)FOREST DESIGN事業部は、津山市河辺に事務所を置き、美作地域を中心にした素材生産やチェーンソー防護用品等の資材販売を行っています。



代表取締役の前田多恵子さん(津山市河辺の事務所にて)

今回は、マネージャーの斉藤純一氏(43歳)から活動内容についてお話を伺いました。

二 山陽商事株式会社FOREST DESIGN事業部の概要

山陽商事(株)は大正15年に設立され、山林経営を中心に事業を展開し、平成24年から素材生産部門事業、林業機械の輸入・販売部門を

統合し、フォレスト・デザイン事業部を創設されました。

会社の経営理念は「人と森を結ぶ林業という仕事を3Kから3Sへ」で、森林で働く環境を整えることにより、SAFE(災害ゼロを目指して)、STYLISH(森の仕事を格好よく)、STRONG(人と自然の未来を担う)の林業の時代を作るといふものです。

現在、現場作業員5名(うち1名は休職中)、事務職員1名で、作業員の平均年齢は46歳となっています。

三 事業活動の概要

現在は、森林組合と連携して民有林の搬出間伐を主体に取り組んでおり、年間3,600立方メートルを目標に素材生産を行っています。なお、平成28年度の事業実績は約3,000立方メートルとなっています。

作業システムは、チェーンソーによる伐倒、ウインチ付きグラブによる集材、プロセッサによる造材、運搬車による搬出、グラブによる積み込み等を主体としており、特に、集材においては、林業用繊維ロープ(ワイヤロープと同程度の強度で約6分の1の軽

さ)を使用することで労働強度の軽減を図るとともに、作業員にはチェーンソー防護衣の着用を徹底することで、安全対策に積極的に取り組んでおられます。



プロセッサによる造材



作業前のミーティング(目的を持って管理者が業務内容をチェックする)

四 特徴的な活動

斉藤マネージャーは、平成29年度現場指導者育成研修を受講され、ウツズマン・ワークショップ合同会社代表の水野雅夫氏の「安全な伐倒技術とその指導方法」を山陽商事(株)にも取り入れているとのことでした。また、フォレストワーカー育成研修の講師として活躍されており、林業技術者にとって必要とされる基礎的な技術・知識を指導されております。



斉藤マネージャー(左)と従業員のみなさん

五 終わりに

斉藤氏は、「新人の林業人生は、最初の指導者が決める。」と話されており、自身のノウハウを新人の作業員に伝えることの重要性を意識されていることが伝わってきました。津山普及指導区としても益々活躍していただけるよう、支援していきたいと考えています。

(林業普及指導員 金光 兵衛)

**岡山県産ヒノキの積み木で
ふれあいの機会を増やそう！**

1 取組の経緯

日常生活の中に木材を取り入れることは、木への親しみをより身近に感じ、木材に対する理解を持続的に深めるものと考えられます。

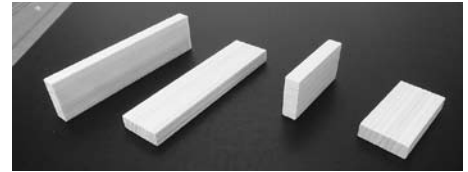
また、「積み木遊び」は人間の五感（視る・聴く・触る・味わう・嗅ぐ）を通して脳を効果的に刺激することが知られており、子どもの知育効果はもとより、子育てに関わる大人も共に学ぶことの出来る最適な遊びであると言えます。

そこで、東備地域森林課では、備前県民局森林企画課との共同企画により、ヒノキ材生産日本一に輝く岡山県産のヒノキを使って積み木を製作し、子どもと子育て世代への木育活動を推進しています。

2 積み木の内容と活用状況

(1) 積み木の内容

積み木は児童用と乳幼児用があります。いずれも大小2つのピースがあります。また、乳幼児用は保健師など専門家の意見を取り入れて、角の面取りや誤飲を防ぐサイズと



児童用 (9×27×108、54mm)



乳幼児用 (27×27×108、54mm)

しています。

一見、何の変哲もない立方体ですが、単純な形であるが故に、積み上げる形は無限です。創造力や集中力、バランス感覚などが養われます。

(2) 積み木の活用状況

積み木は無料で貸し出ししています。東備地域ではこれまでに、子ども応援フェスタ（備前市）や子育て講演会（赤磐市）等のイベントに貸し出しているほか、山陽



あかいわ祭り（赤磐市）

保健センター（赤磐市）、和気町保健センター（和気町）に長期貸し出しを行い、乳幼児検診で訪れた親子に、待合スペースで積み木遊びを楽しんでいただいています。



子ども応援フェスタ（備前市）

(3) 利用者の意見

利用者へのアンケートで、保護者からは「ヒノキの香りが良い」「触り心地が良い」、乳幼児検診を担当する保健師からは「子どもの年齢に応じた遊びができる」「集中してよく遊び、いろいろ発展させて作っており、子どもの創造力が養われている」など、好評をいただいています。

一方で、「触れる機会は提供できず、木材の良さを伝える人が必



子どもたちの傑作

した学ぶ
機会の提
案などへ
活動を発
展させて
いきたい
と考えて
います。

3 貸し出しのご案内

積み木は、備前県民局管内（東備地域を含む）の地域イベントや児童館のプレールーム、公民館などの公共の場で利用される団体に無料でお貸しします。

詳しくは、備前県民局森林企画課（086-2333-9833）、または東備地域森林課（0869-9215166）にお問い合わせください。

(<http://www.pref.okayama.jp/page/501179.html>)

（林業普及指導員 掛屋 晶則）

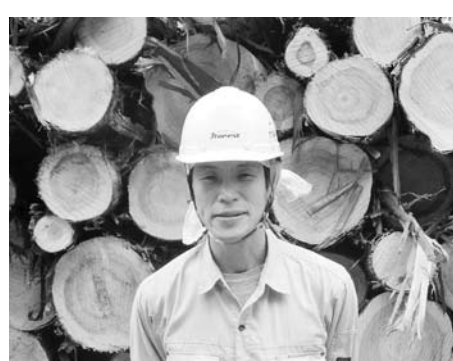
特集

『教えて先輩!』

びほく森林組合

布瀬 健一さん (42歳)

今回は、びほく森林組合でフォレスター(作業班員)として勤務されている布瀬 健一さんを紹介いたします。



びほく森林組合 布瀬 健一さん

一 経歴

布瀬さんは、福島県出身で、岩手県内の大学を卒業後、宮城県の森林組合などを経て、福島県内の森林組合で林産現場の仕事をしていましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災により避難先を探していたところ、高梁市が住宅や修学支援など被災者の受け入れに力を入れているのを知り、平

成23年10月に家族4人で高梁市へ移住して来られました。

移住後、ハローワークで就職先を探していたところ、びほく森林組合がフォレスター(作業班員)を募集しているのを知り、平成23年11月末日からびほく森林組合のフォレスター(作業班員)として勤められ、現在6年目になります。

二 仕事内容

布瀬さんは現在、主に搬出間伐の現場で伐倒・集材・造材・搬出などの一連の作業を担当されています。

仕事について伺ったところ、「雨の日と一部の時期を除き、年中搬出作業を行っています。夏は暑く、冬は寒いけど、それほど気になりません。山仕事が好きなんです。」と笑顔で答えられました。

次に、仕事で気を付けている点について伺ったところ、「冬は路面が凍結し、日中はそれが溶けてぬかるんでしまうので、フォワーダの運転には非常に気を使います。また、林業機械を使つての作業が多いので、集中力を保つため、早寝早起きを心がけ、睡眠時間を十分に取るようにして、体調管理

に気を付けています。」とのことでした。



フォワーダで運材作業中の布瀬さん

三 先輩へ

布瀬さんは現在、高梁林産班の班長をされています。

自分の班には、新人や若い方はおられないとのことですが、新人や若い方へのアドバイスをお願いしたところ、「林業機械に慣れるまでは、慎重に作業をしてほしい。2、3年の経験では、技術は身に付かない。日々の精進が必要で、少しでもうまくやれるよう努力をしてほしい。長く続けることによつて、林業の楽しさ、やりがい等が分かってくる。」また、「失敗を恐れずに、若いときの苦労は買ってでもしてほしい。」とのことでした。

四 今後について

これからは、伐期を迎えた森林の伐採・搬出作業を行い、高性能林業機械等を有効に活用して、安全で効率的な森林整備を行なっていきたいと思っています。



グラップルで集積作業中の布瀬さん

五 おわりに

今回の取材では、高梁市川上町上大竹地内の搬出間伐の現地でお話を伺いました。

昼休みの貴重な時間に、快く取材に応じてくださりありがとうございました。

布瀬さんの今後益々の御活躍を期待し、当普及指導区としても、支援していきたいと思ひます。

(林業普及指導員 内田 直人)

平成29年度「おかやま森づくり県民税」事業の概要

県では、県民の貴重な財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいくため、平成16年度から「おかやま森づくり県民税」を活用した森林保全事業を実施しています。

平成29年度は、658,555千円を活用して主に次の事業に取り組むこととしています。

1 水源のかん養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり (493,665千円)

(1) 健全な人工林の整備 (361,586千円)

間伐等の実施や作業道の開設・補修、間伐材の搬出を支援し、少花粉スギの普及促進、低コスト再造林の施業技術の確立に取り組めます。

(2) 多様な森づくりと快適な森林環境の創出 (132,079千円)

松くい虫やナラ枯れ被害林の整備、被害木の伐倒や薬剤による駆除、人家裏等の危険木の除去、地域の実情や課題に対応した市町村による森林保全の取組を支援します。

2 森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進 (141,576千円)

(1) 力強い担い手の育成 (44,092千円)

市町村による担い手確保に向けた取組、新規就業者の現場研修経費の助成、林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材の育成、地域林業の中核を担う林業事業体の経営改善を支援します。

(2) 木材の利用促進 (97,484千円)

公共空間の内外装木質化や木製用具の導入、県産材製品の販路拡大、F M認証等森林認証の取得促進、木質系バイオマスを活用した商品開発を支援します。

3 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 (23,314千円)

(1) 県民への情報提供 (6,704千円)

学校等で使用する副読本の作成や森林・林業について理解を深めるイベントを実施します。

(2) 県民参加による森づくり活動の推進 (16,610千円)

おかやま森づくりサポートセンターの活動支援や森づくり活動に取り組む企業等への二酸化炭素森林吸収評価認証書の交付、都市と山村との交流活動の支援、みどりの少年隊が交流する「みどりの大会」を開催します。



健全な人工林へ向けての間伐実施



少花粉スギモデル林の整備



松くい虫被害木の伐倒による駆除



就業ガイダンスへの参加



木製用具の導入



サポートセンターによる研修会の開催

各事業の概要については、林政課ホームページに掲載していますのでご覧ください。

※岡山県林政課HP「おかやま森づくり県民税」URL：<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-21757.html>
(林政課普及指導班)

スイングヤーダによる
効率的な簡易架線集材方式

一 はじめに

平成27年時点、岡山県に導入された高性能林業機械228台のうち、34台がスイングヤーダとなっています。この林業機械の特徴は、路網密度を低くして、主索を用いない架線集材（以下、簡易架線集材）を実施可能にできる点にあります。

しかし、岡山県の素材生産は、高密度路網と車両系作業システムの組み合わせが主流となっており、ほとんどの林業事業者がウインチ集材を主体に作業を行っています。そこで、スイングヤーダの効率的な利用のために、中密度路網と



図1 スイングヤーダ (0.25㎡クラス)

スイングヤーダの組み合わせによる簡易架線集材について、効率的な集材方法を検討しました。

二 調査方法

本調査では、簡易架線の架設撤去作業及び集材作業について実証試験を行いました。その結果から、架設撤去作業及び集材作業の作業時間推定式を算出し、シミュレーションにより効率的な集材方法を明らかとしました。

三 シミュレーション条件

シミュレーションは、①列状間伐2列（以下、列状方式）、②列状間伐1列と魚骨状間伐と列状ウインチ集材の組み合わせ（以下、魚骨状方式）、③列状間伐1列と定性

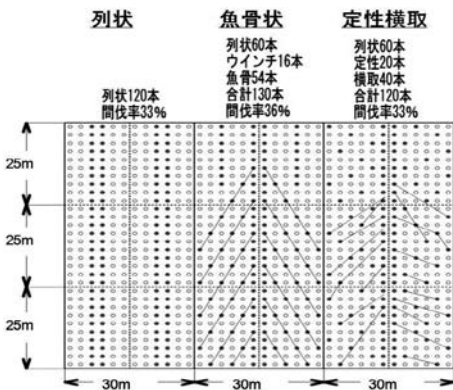


図2 シミュレーション図

横取間伐と定性ウインチ集材の組み合わせ（以下、定性方式）の3パターンについて行いました（図2）。

四 効率的な集材方法

架設撤去を除いたシミュレーション結果では、列状方式が最も生産性が高くなり、定性方式が最も低くなりました（図3）。

次に、架設撤去を含めたシミュレーション結果では、集材距離が55m未満では、魚骨状方式の生産性が最も高くなり、集材距離が55m以上となると、列状方式の生産性が最も高くなりました（図4）。これは、集材距離が55m未満では、列状方式が魚骨状方式より架設撤

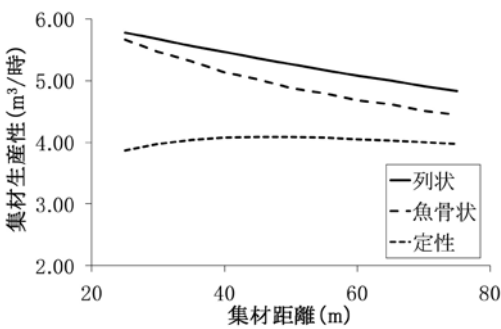


図3 架設撤去を除いたシミュレーション結果

去を1回多く行う影響が大きくなるためでした。

スイングヤーダによる簡易架線集材の適用範囲は、30～70mと言われていますが、その適用範囲内でも、集材距離が30～55m未満の場合は魚骨状方式による集材を行い、55～70mの場合は架設撤去回数が増えますが、列状方式による集材を行うことで生産性を高めることができると考えられました。

以上のことから、スイングヤーダによる簡易架線集材では、施業地に応じて効率的な集材方式を選択することが必要となります。

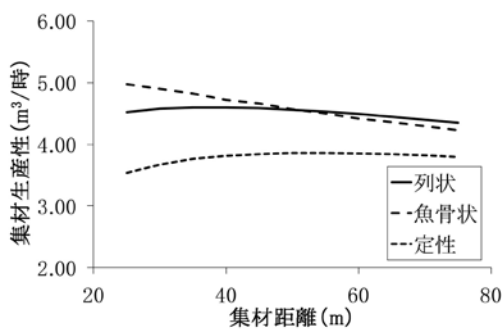


図4 架設撤去を含めたシミュレーション結果

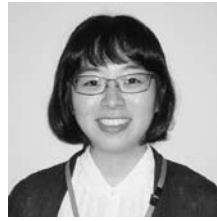
（森林研究所林業研究室
研究員 片桐 智之）

特集

『林務の職場』

平成29年度
岡山県新規採用職員

平成29年度に岡山県職員（林業職）に新規採用された5人の職員を紹介합니다。



農林水産部
林政課
森林企画班
中川 葉月
なかがわ はつき

○経歴と就職のきっかけ

岡山県倉敷市の出身で、高校時代に森林へ興味を持ち、宮崎大学農学部森林緑地環境科学科へ進学しました。

その後、大学4年間で林業について学んだことで、ここで得た知識を生かせる仕事に就きたいと思うようになり、地元岡山の県職員を志望しました。

○担当業務

主な業務は森林・林業の統計資料の作成ですが、現在は林野庁か

らの各種調査や、地域森林計画付属資料の活用に関する業務を行っています。

○今後の抱負など

これから携わる業務で得る経験や、出会う方々とのつながりを大切に、幅広い視点から岡山の森林林業の発展に貢献していきたいと思っています。



備前県民局
森林整備課
石原 優希
いしはら ゆうき

○経歴と就職のきっかけ

平成6年に倉敷市で生まれ、高校卒業まで岡山県で過ごしてきました。高卒業後は鳥取大学に進学しました。大学入学当時は、菌類を用いた放射性物質の吸収に関する勉強をしたいと考えていました。

しかし、1年次に森林生態学と出会い、その面白さに引き込まれるようにして、2年次から森林系

を学べるコースに入りました。その後は、主に大山や蒜山をフィールドにし、人と動植物の共存をテーマとして学びました。

就職するきっかけとなったのは、就職と大学院進学で迷っていた時期に、岡山県の仕事説明会に参加したときのことでした。ある職員の方に「県の仕事は幅広い知識が必要で、新しいことが常に出てくるから面白いよ」と言われたことです。これにより、好きな分野の勉強をしながら生まれ故郷のために働くことができると確信し、岡山県職員を志望しました。

○担当業務

治山工事の設計・指導・監督や災害に関することなどを担当しております。

近年はゲリラ豪雨など異常気象により山地災害の危険性も増しており、気を引き締めて業務にあたりたいと考えております。

○今後の抱負など

治山事業は、必ず現場と地元住民が存在します。そのため、大学

の先生の教えである「真実はフィールドに有り」を大切に、積極的に現場に足を運び、まずは管内について詳しく知りたいと思っています。

また、これからの新たな経験を一つ一つ大切に、向上心を持ち続け、岡山県の森林と向き合っていきたいと思っています。これから、よろしくお願ひ致します。



備前県民局
森林整備課
竹内 智也
たけうち ともや

○経歴と就職のきっかけ

岡山県勝田郡勝央町の出身で、小さい頃から自然豊かな場所でありました。そのため、自然と人間で働くことのできる仕事に就きたいと小学生の頃から思っていました。

その考えが具体的なものになったのは、母校である高知工科大学のインターンシップで高知県庁・林業振興・環境部でお世話になったことです。バイオマス発電所・

高性能林業機械・CLTなど最新の林業を見学させてもらい、林業の魅力を知りました。また、幅広い視野を持ち地元で貢献できる県庁職員を目指すことを考えるようになりました。

大学では、環境学について学んでおり、林業に関しての知識は、ほとんどありませんでしたが、同じ志を持ち、一緒に頑張ってくれた友人、先輩、教授などたくさんの方々のおかげで今の職に就くことができました。

○担当業務

治山事業や補助事業に関することなどを担当しています。

補助事業については市町村と連携をとることが必要な業務ですが、難しい問題もあると思いますが、仕事がスムーズに進むよう業務にあたりたいと考えています。

○今後の抱負など

治山事業は、現場第一ですので、現場の状況をしっかり把握するよう心がけています。

また、地元で貢献できる技術者

になれるよう、日々向上心を持ちつつ、努力をしていきたいと思えますので、よろしくお願い致します。



美作県民局
森林企画課
梅野 佑太

○経歴と就職のきっかけ

和歌山県の出身で、愛媛大学農学部・森林資源学コースで4年間学びました。就職するきっかけとなったのは、大学の先輩職員に誘われたからです。

その後、岡山県職員（林業職）の仕事説明会に参加し、岡山県の林業事情に興味を持ったので、岡山県職員を志望しました。

○担当業務

おかやま森づくり県民基金事業、おかやま森づくり県民税事業、緑化関係等に携わっております。

○今後の抱負など

県外出身ですので、岡山の土地勘がほとんどありません。登山が趣味なので、県内の山々を巡って岡山の地を隅々まで楽しみたいと思います。



美作県民局
森林整備課
横山 雄己

○経歴と就職のきっかけ

出身は岡山市で、高校時代までは岡山市内で過ごしてまいりました。その後は愛知県内の大学で文芸部へ入り、日本や海外の様々な文化を学びました。卒業後、地元岡山に貢献したいという思いから岡山県職員を志望するに至りました。

そして、県の臨時職員として林政課に勤務していた経緯から、林業という職種に大きく興味を惹かれ、文系の身でありながらも林業職を選択することとなりました。

○担当業務

私は、美作局管内の治山工事の設計・監督や治山台帳とりまとめ等を担当しており、現在は下刈や本数調整伐等の森林整備事業を主に行っております。

○今後の抱負など

森林に関する事柄について得られる知識の一つ一つが新鮮なものであり、毎日好奇心が刺激される充実した日々を送っています。今後も見て感じるものが全てが勉強であると捉えながら、日々の業務に取り組んでいこうと思います。

また、美作地域の実状をより詳しく知るためにも現場へ積極的に赴き、地域住民や施工業者の方々と対話もしつかりと行っていきたいと考えています。

治山・森林整備事業を通じて、岡山県の森林の活性化や地域住民の方々の安心と安全に貢献できるように、精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。



岡山県の森林と向き合っていきたいと思えます。これから、よろしくお願致します。

森林・林業関係イベント参加募集

※詳細は申込先にお問い合わせください。

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
10.1 (日)	吉備高原都市 「さんさん広場」 (吉備中央町吉川)	岡山県みどりの大会2017	岡山県自然環境課 自然公園班 (申込不要) TEL (086) 226-7312
10.7 (土) ~10.8 (日)	勝山文化センター (真庭市勝山)	全国薬草シンポジウム2017 in まにわ シンポジウム、ワークショップ、 薬草料理交流会	実行委員会事務局 TEL (080-2930-8028)
10.8 (日) 9:30~14:00	高梁美しい森 及びその周辺 (高梁市松山)	キノコウォッチング 野生キノコの基礎講義と採取、鑑定会 1 参加費 (1人あたり) ・成人3,000円 ・小学生1,500円 ・小学生以下は、無料 昼食付き、鑑定済キノコに限り持帰可 2 定員: 50名 ※定員になり次第、締切	NPO法人フォレスト フォーピープル岡山 〒716-0038 高梁市浜町1285-1 TEL (0866) 22-1000
10.14 (土) 10:00~	県農林水産総合 センター (赤磐市神田沖)	農林水産総合センターフェア 木工教室、農作物の販売等	県農林水産総合センター TEL (086) 955-0273
10.28 (土) 10:00~14:30	グリーンヒルズ 津山 (津山市大田)	第18回森林を考える岡山県民のつどい 基調講演、木工教室、木工品等の展示即売 等	森林を考える岡山県民の つどい実行委員会事務局 TEL (0868) 32-2140

安心と信頼の証を届けます





創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

OHKUBO 大久保体育株式会社

■本 社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
 ■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市瀬戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
 ■東京営業所 〒201-0003 東京都江市和泉本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587



緑あふれる環境づくり

株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット (切土軟岩用)	森樹郎マット (切土土砂用)	森樹郎マット21 (切土土砂用)	張りウッド (盛土用)	ハリシバモック (盛土用)
				

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録: CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
 津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
 岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000



林産物市況



木 材 (6月27日)

・出荷量 約2,100m³

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直 材	小曲り	概 況
杉	3 m	14~16	11	—	杉概況
		18~20	10	—	【3 m】
		22~28	12	10	柱材 横這い
	4 m	18~22	10	—	中目材 横這い
		24~28	10	—	【4 m】
		16~18	15	—	中目材 横這い
桧	3 m	14~16	19	16.5	元木 横這い
		18~20	16	15	桧概況 柱材 横這い 中目材 横這い 元木 横這い 6 mは18cm以上の直材でお願いします。
		22cm上	14	12	
	4 m	14~18	16	14	
		20~22	13.5	13	
		24~28	15	13	
		30cm上	15	13	
	6 m	16	22	—	
		18~20	28	—	
	松	3 m	18~22	10	8
4 m		18~22	10	8	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

乾しいたけ (6月16日)

・出品数量 4.6 t
 ・価格高値 6,500円
 ・総平均 4,330円

品 柄	価 格		相場
	平均	高値	
香 信 大	4,981	6,500	◎
香 信 中	4,541	6,000	◎
香 信 小	3,984	4,890	◎
小 間	—	—	—
香 信 山 成	—	—	—
バ レ 大	3,948	4,500	◎
バ レ 中	3,792	4,650	◎
ス ラ イ ス	5,413	6,180	◎
上 どん こ	4,917	5,680	◎
並 どん こ	4,507	4,800	◎
並 並 どん こ	3,826	4,690	◎
小 玉 どん こ	—	—	—
山 成 どん こ	—	—	—
こ う こ	4,837	6,000	◎
格 外	1,509	1,890	

価格：円/kg (相場) 強：◎ 保合：○ 弱保合：□

<概況>

香信・どんこ・こうこ ともに安定した値動きをしており、特にスライスについては市場が品薄状態であることから取引が活発で、高値の取引となりました。

資料：岡山県森連椎茸共販所 市況通知
 ※次回入札会はH29.10.20

製 材 (6月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値 ~ 高値 (円/m ³)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	60,000(背割有) ~ 63,000(背割無)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	55,000 (背割有・無) ~ 60,000
マ ツ	平角 4 m 10.5~12cm × 15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	54,000~56,000
	平角 3 m、4 m 10.5 × 15~21cm	特等	G	55,000~
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	70,000~75,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm × 10.5cm	特等	K	57,000~

注1：価格は、岡山県内の市場等の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



「緑の募金」 ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助

治山・林道の調査、測量、設計、積算

森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711

津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST
INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林

加入期間は？ 1年単位で何年でも！

保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約2千7百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いと 21,225 円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いと 37,375 円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約350円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



『森林保険』

岡山県森林組合連合会 **JForest**

「大事な資産を災害リスクから守ります」

加入例：間伐後加入（3年30%）

ヒノキ 0.1ha 30～50年生

保険料 746円～ 1,043円

保険金額 95,400円～135,000円（全損の場合）

山林復旧の助けとなりますので加入をご検討ください。



平成16年台風被害の様子
約6千件 保険金支払い約27億円

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033代

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

「ほつけ〜木になる情報」

A. この「60」は、林業の労災保険率です。

労災保険料を算出する際に用いられる「労災保険率」は、事業の種類によって異なり、それぞれの業種の過去3年間の災害発生状況などを考慮し、原則3年ごとに改定されます。

労災保険料は事業主（会社）が全額負担するもので、その計算は、

◇労災保険料＝

賃金総額×労災保険率

例えば、単純なモデルとして、日当が10,000円だと掛け金は600円で、百万円だと6万円になります。

林業の現場では労働災害が多く発生しており、それらを未然に防ぐためには、個人はもとより、組織としての取組が重要です。

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-8507

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内 または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所木材加工研究室内



会場で上棟した木のジャングルジムから餅投げをする森の大使（中央）

◎「おかやま森の大使」大活躍
6月24・25日、イオンモール岡山で行われた、「日本一のひのきの国・岡山 おかやま木材フェスティバル」に、おかやま森の大使が2日間にわたり、クイズ大会の司会や餅投げ等行いました。
イベント等がありましたら、御連絡ください。お待ちしております。

林声

平成二十九年七月一日（第四五四号）
（隔月一日発行）

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
発行 〒700-8750 岡山市北区内山下二一四一六



「ライフデザイン・カバヤ(株) 倉敷支店」
平成27年度の林野庁地域材利用
拡大緊急対策事業を活用して、CLT
を使った木造3階建てのライフ
デザイン・カバヤ(株)倉敷支店
新事務所が平成29年2月、倉敷市
内に完成しました。
構造は、木造軸組工法+CLT
壁となっており、延べ床面積約7
36平方メートル。CLTは水平構面にも
使用され、延べ139.8立方メートルを
使っています。
(倉敷普及指導区)

森林・林業施設の紹介





CT-500C
GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

- | | | | |
|-----------|--------------------------|-------------|-------|
| 〔野生獣類忌避剤〕 | コニファー水和剤 | 〔幼令樹保護カバー〕 | くわんたい |
| 〔樹皮食い防止に〕 | バークガード | 〔野生草食獣食害防止〕 | 防獣ネット |
| 〔クズ専用除草剤〕 | ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース | | |
| 〔樹幹注入剤〕 | マッケンジー注入剤 | | |
- （お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ）

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。（間伐材10%+古紙70%）

R70